

TOPICS 1

お客様の健康増進に取り組む

平和堂の本社がある滋賀県では、「人の健康」「社会の健康」「自然の健康」の3つを柱とする「健康しが」の取り組みを推進しています。平和堂は滋賀県や自治体や地域団体と連携しながら健康に関する取組を行っています。



健康しがマルシェ

「健康しがマルシェ2018(主催:滋賀県)」がビバシティ彦根(滋賀県彦根市)で開催されました。身体にいいものや、身近な運動などを紹介するブースの出版、トークショーなどが行われました。イベントでは、自転車で琵琶湖を一周する「ビワイチプロジェクト」が身近なスポーツとして取り上げられ、滋賀県内の平和堂全店に設置しているサイクルサポートステーションが紹介されました。



「美と健康フェア」 「ハッピーライフフェア」開催

平和堂では、地域の皆様が「健康寿命の延伸」を目指し活力のある生活ができるよう、イベントを通じて健康増進のご提案をしています。ビバシティ彦根(滋賀県彦根市)では「美と健康」のお悩みにお答えする「美と健康フェア」、アル・プラザ水口(滋賀県甲賀市)では健康商品の体験などをしていただく「ハッピーライフフェア」を開催いたしました。地域の健康課題への啓発にも取り組んでいきます。

TOPICS 2

滋賀県と中国・湖南省の友好のかけはし

平和堂(中国)開店20周年

湖南省
長沙市

1998年、中国・湖南省の長沙市に平和堂(中国)の第一号店として「五一広場店」がオープンして、20年を迎えました。湖南省の発展に貢献した平和堂(中国)の歩みを振り返ります。



「店はお客様のためにある」、 小売業の原点を伝える

平和堂(中国)出店のきっかけは、滋賀県と湖南省の友好県省協定の締結にありました。湖南省政府から「人民の生活を向上させるため」に平和堂に出店要請があり、悩んだ末に現地の百貨店を訪問した当時の会長・夏原平次郎の目の前には、信じられない光景が広がっていました。「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と声を出さない店員、品揃えの悪い売場。「店はお客様のためにある」という小売業の原点からはかけ離れた状況に驚いた夏原は、応対やサービスが良く楽しい買い物ができる百貨店を作ろうと心に決めたのです。

苦勞の末の一号店開店

一号店の開店にあたっては、大学を卒業したばかりの商売もサービスも知らない現地の社員を日本で教育、実習しました。海外出店のノウハウもなかったことから、商社や他の小売業の方々にもご協力をいただき、何とか開店の日を迎えることができました。最も心配していた「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」を店員は笑顔で言い、来店いただいたお客様が感激されたことが市内で話題となりました。小売業の原点「店はお客様のためにある」という心が中国の皆様が届いた記念すべき日から20年。今後も地域のお客様のために努力を続けてまいります。

オープン秘話

1 建設途中に重要史料発見!



地下部分の掘削工事中に、約2000年前(三国志時代)の井戸の遺跡を発見。井戸の中からははつきりと文字が読める木簡や竹簡が約17万本も見つかりました。

2 オープン初日の来店者数は25万人!



オープン初日は、開店の2時間前からたくさんのお客様が並びました。開店と同時に店内は人で埋め尽くされました。